

# 日出RCの青少年奉仕活動 その現状と未来

イエナプラン・オランダ研修への教員派遣の夢

日出RC 2023－24年度  
会長 加賀山 茂



2024/4/14



Shigeru KAGAYAMA, 2024



1

## 日出RCの青少年奉仕活動 目次

- 自己紹介
  - [経歴](#)
  - [専用Webサイト](#)
- [日出RCの青少年奉仕活動](#)
  - [日出RC旗争奪少年野球大会\(38回\)](#)
  - [善行褒章](#)
    - [善行褒章推進についての褒章](#)
    - [花育の授業担当](#)
  - [子ども食堂の運営](#)
    - [川崎公民館, 豊岡公民館, 中央公民館](#)
- [イエナプラン・オランダ研修への小・中学校教員の派遣の夢](#)
  - [少子化の現状](#)
    - [一人っ子のメリット・デメリット](#)
  - [教育・学習理論の変化](#)
    - [教育論から学習論へ](#)
    - [理想の学習は, 生徒に教えさせる](#)
    - [生徒同士で教え合い学び合う](#)
  - [イエナプランの実践校](#)
    - [福山市立「常石ともに学園」の教育](#)
- [参考文献](#)

2024/4/15



Shigeru KAGAYAMA, 2024



2

## 加賀山 茂の自己紹介・経歴

- 1948年 愛媛県宇和島生まれ(現在76歳)
- 1979年 大阪大学法学部, 大学院博士課程単位取得退学(31歳)
- 1979年 国民生活センター研究部職員(4年半)消費者問題の実務
- 1984年 大阪大学教養部講師(3年)民法, 法律人工知能
- 1987年 大阪大学法学部助教授, 教授(10年)民法, 法律人工知能
- 1997年 名古屋大学法学部教授(10年)民法, アジア法整備支援
- 2005年 明治学院大学法科大学院, 法学部(11年)民法, 消費者法
- 2015年 明治学院大学「法と経営学研究科」委員長(2年)退職
- 2017年 名古屋大学・明治学院大学名誉教授
- 2018年 吉備国際大学大学院(通信制)知的財産学研究科特任教授(→2022年退職)
- 2020年 法と経営学会会長(→名誉会長(2022年))
- 2021年 (株)まちと学びのイノベーション研究所副社長→社長(2022年)→シニア研究員(2023年)
- 2022年 岡山県真庭市政策アドバイザー(非常勤特別職)



2024/4/15



Shigeru KAGAYAMA, 2024



3

## 加賀山 茂のウェブサイト

<http://cyberlawschool.jp/kagayama/>

- [Top]
- I. 自己紹介(詳細), プロファイル(簡略)
  - II. トピックス
    1. 假山塾の進行役として利用するHPを作成しました(2022年7月12日)
    2. コロナ禍の次の国難「南海トラフ巨大地震」に備えるための「循環型デジタル地域社会」の構築プランを着想(2022年4月17日)
    3. 真庭市「政策アドバイザー」(地方公務員法3条3項3号の非常勤特別職)に就任(2022年4月1日)
      - 民法, 消費者法, 著作権法, 個人情報保護法, 法と経営学の専門知識を駆使して, 市の発展のために助言を行なう。
    4. (株)「まちと学びのイノベーション研究所」

### 假想法科大学院

<http://cyberlawschool.jp/kagayama/>

2007年9月3日開設



更新: 2022年9月2日 /HP更新記録、教育・研究・生活日誌(2022, 2021, 2020, 2019, 2018, 2017, 2016)  
 (このホームページの「売り」がこの日誌です。特色は、例外なしに毎日更新されているところです。他人の個人情報を除き, 私の頭の中を表現した私のポートフォリオ(portfolio)です。)

このサイト<<http://cyberlawschool.jp/kagayama/>>の作成者は, 加賀山 茂です。  
 従来の私のホームページには, 目次がなかったため, 左の欄に目次を付けて読みやすくしています。  
 このサイトの内容(リンク集を除く)について, 私は複製権などの著作権財産権を放棄しています(Copyleft)。法律にも判決にも, 著作権はありません(著作権法第13条)。誰でも自由に利用できる私たちの公共財です。公共財に依拠して作成した私の論文も, 誰でも自由に利用できるようにパブリック・ドメインに置いています。したがって, このサイトにリンクを張ったり, 内容をコピーをしたりすることは, 許可なく自由に行えます。ただし, わが国の著作権法においては, 著作権人格権を放棄することはできません。このサイトから複製・引用する場合には, 著作権者の表示をお願いします。(なお, 会員のホームページは, 現在のところ, 事情により更新を停止しております。)

あなたは, 第 **0000047766** 人目の閲覧者です。

2024/4/14



Shigeru KAGAYAMA, 2024



4

# 日出ロータリークラブの会員



2024/4/14



Shigeru KAGAYAMA, 2024



5

# 1. 児童の身体活動の奨励

第38回日出RC旗争奪少年野球大会

選手宣誓



2024/4/14



Shigeru KAGAYAMA, 2024



6

## 2. 児童・生徒の情操・徳育の奨励

善行褒章(会員による花育の授業)



第3回 子ども食堂(会員が運営)



2024/4/14



Shigeru KAGAYAMA, 2024



7

## 3. 教員レベルの向上支援

### ■ 日出ロータリークラブの中・長期戦略

- イエナプラン・オランダ研修への教員派遣プロジェクトを推進する。
  - まずは、日出町の教育関連機関との連携を図る。
  - 日本の公立小学校で唯一イエナプランを採用している広島県福山市立「常石ともに学園」の視察を検討する。

### ■ イエナプランとは？

- イエナプラン(Jena-Plan)とは、ドイツのイエナ大学の教育学教授だったペーター・ペーターゼン(Peter Petersen, 1884 - 1952年)が1924年に同大学の実験校で創始した学校教育のことです。
- 子どもたちを『根幹グループ(英語ではファミリー・グループを訳されることが多い)』と呼ばれる異年齢のグループにしてクラスを編制したことに大きな特徴がある。

2024/4/14



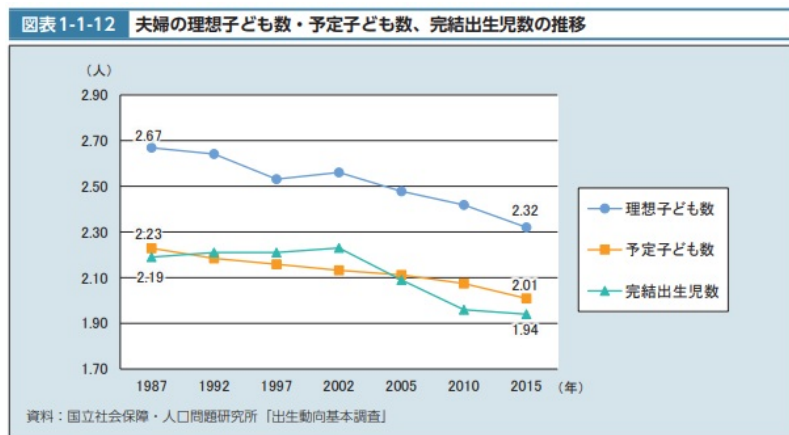
Shigeru KAGAYAMA, 2024



8

## 4. 異学年学級編成の背景

### (1) 少子化に伴う一人っ子家庭の急増



2024/4/14



Shigeru KAGAYAMA, 2024



9

## 4. 異学年学級編成の背景

### (2) 一人っ子で姉妹・兄弟がいないと教え合えない

- 一人っ子家庭の増加の原因
  - 子供の養育費・教育費を確保したい ← 相対的貧困の増加
  - 仕事と子育ての両立が難しい ← 長時間労働, 現存する男女差別
  - 子育て環境への不安 ← 戦争を含めた社会不安
  - 親も自分の人生を楽しみたい ← 個人の尊厳
  - 年齢や体調などの理由 ← 晩婚化の進展
- 一人っ子家庭のメリット・デメリット
  - 教育上は, 一人っ子家庭においては, 子供同士で教え合う環境が実現できない点にある。
  - 学校教育における, 異学年学級編成が必要とされる。

2024/4/14



Shigeru KAGAYAMA, 2024



10



## 5. 学力向上のカギは、 生徒同士で教え合い、学び合うこと

- 教育重視から学習重視という風潮は、危うい。
  - 自発的に学習する子なんてほとんどいない。
  - 「勉強しろ」といって、勉強する子もない。
  - ところが、「前に立ってみんなに教えなさい」というと、子供たちは、すごい勢いで勉強する。
  - 勉強せずに教えることなどできないから。
- 教える権利を教師が独占していたことが問題。生徒に教える権利を与えよ。
  - 役員になるとロータリーのことをよく学ぶようになるのは、教える必要があるから。
  - 生徒同士が教え合うようになると、教員は、生徒の一人ひとりをよく観察し、向き合えるようになる。

2024/4/14



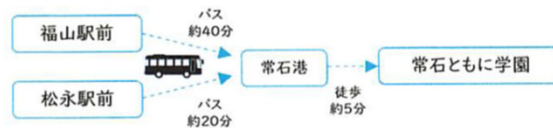
Shigeru KAGAYAMA, 2024



11

## 6. 日本の公立学校で唯一イエナプランを 採用している福山市立「常石ともに学園」

● 公共交通機関の場合：バス（鞆鉄道）



2024/4/15



Shigeru KAGAYAMA, 2024



12

## 6. 日本の公立学校で唯一 イエナプランを採用している小学校



### 異年齢集団でのグループ編成

- ◆ 1年生から3年生, 4年生から6年生の3学年による異年齢集団を基本単位として教育活動を行います。
- ◆ 年長者が年少者を助けたり, 教えたりということが, より日常的に行われるようになります。
- ◆ 個性や発達程度の違いが当たり前のように受け入れられるようになります。
- ◆ 教科等の学習では, 学年を超えた学びの展開が可能となります。



### 4つの基本活動に基づいた時間割

2024/4/14



Shigeru KAGAYAMA, 2024



13

## 参考文献

### ■ 先端教育

- 特集1:「新たな知が求められる時代 生成Aiが変えた人材育成の実際」月刊先端教育(2023/10/1)16頁)
- 特集2:「教育現場とChatGPT」月刊先端教育(2023/10/1)58頁

### ■ 教育・学習方法論

- アンダース エリクソン=ロバート プール(土方奈美訳)『PEAK: 超一流になるのは才能か努力か?』文藝春秋(2016/7/29)
- パーバラ・オークレ=オラフ・シーヴェ(宮本喜一訳)『LEARN LIKE PRO 学び方の学び方』アチーブメント出版(2021/1/30)
- 木村泰子『10年後の子どもに必要な「見えない学力」の育て方』青春出版(2020/11/20)
- アンジェラ・ダックワース(神崎朗子訳)『GRIT やり抜くカー人生のあらゆる成功を決める「究極の能力」を身につける』ダイヤモンド社(2016/9/8)

### ■ 教育・学習論(続き)

- ポール・タフ(高山真由美訳)『成功する子 失敗する子—何が「その後の人生」を決めるのか—』英治出版(2013/12/25)
  - 西川順『個別最適化の教育—人生100年時代を生き抜く子を育てる!』学陽書房(2019/11/5)
  - 渡辺信一『AIに負けない「教育」』大修館(2018/8/10)
- ### ■ イエナプラン
- リヒテルズ直子『今こそ日本の学校に! イエナプラン実践ガイドブック』教育開発研究所(2019/9/1)
  - リヒテルズ直子(監修・出演)『明日の学校に向かって—オランダ・イエナプラン教育に学ぶ—』グローバル教育情報センター(2015)

2024/4/14



Shigeru KAGAYAMA, 2024



14